



東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03) 3271-2181
URL: https://www.t-namakyō.jp/
発行責任者 高村 尚

＝協組の動き＝

(12月)
6日(月) 理事会(No. 1160)
20日(月) 理事会(No. 1161)

(2022年1月)
11日(火) 理事会(No. 1162)
24日(月) 理事会(No. 1163)

2022年新年祝賀式

日時: 1月5日(水)
11時～

場所: 第一ホテル東京
東京地区生コンクリート協同組合



冬至 (裏面参照)

11月号訂正 (出荷実績)

11月号において10月(実績)の大型部会の前年比が88.2%となっておりますが、107.2%の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

登録販売店会議を開催

登録販売店に現況と今後の方針を説明

11月16日(火)14時より「ベルサール東京日本橋」会議室において、当協組の登録販売店全32社を対象に「登録販売店会議」を開催致しました。

当日は販売店各社の営業部門の責任者や担当者の出席の下に、報道各社の記者も取材に来られる中で、当協組の現況や各種課題への取り組み状況について意思疎通を図るため、当協組の執行部からの説明の他、営業・技術・調整管理各部より相互確認のための報告を行いました。会議の概要は以下のとおりです。

【主催者挨拶】

会議の冒頭に齋藤理事長が挨拶の中で次期生コン価格の設定について触れ、「今後のセメント価格値上げ等のコストアップの動向を見極め、2022年度期中での値上げ実施を視野に入れて時期及び改定額を決定することになるが、従前の値上げ幅を大幅に上回ることは避けられない」との見通しについて説明し、併せて登録販売店各社の従前にも増した協力要請が為されました。

【議事】

主催者挨拶に続き以下の各項目についての説明を行っております。(以下、1～3については西森副理事長より、4については田中技術部長及び梶浦営業部長より各々説明)



<齋藤理事長>

- 協組の現状について
 - 生コン価格等の値上げ実施
 - 生コン価格等の値上げに関する現状
 - 2021年度の需要動向
 - アジテータ車の保有台数の直近推移
 - 残コン・戻りコンの発生状況
 - キャンセル関係の発生状況
- 次期生コン価格(2022年度価格)について
- 低炭素型コンクリートの対応について
- その他
 - 生コンクリート納入時における安全について
 - 引合書入力時の注意事項

以上の説明の後、出席者との質疑応答を経て、出席販売店各社に本会議における報告説明内容についてのトップから第一線に亘る社内周知徹底を併せて要請しました。

今後も本会議を含め、登録販売店各社との意思疎通に万全を図る中で当協組の施策実行に努めて参ります。

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	11月(実績)	12月(月初想定)	11月(実績)	前年比
大型	211,394 m ³	230,000 m ³	引合	260,562 m ³ 199.8%
小型	33,469 m ³	30,000 m ³	成約	227,157 m ³ 203.7%
計	244,862 m ³	260,000 m ³	契残	3,475,287 m ³ 86.7%

感謝の気持ちを忘れずに 大谷翔平選手から学ぶこと

河島 慎吾



前回の掲載から三年以上が経ちました、父親の急逝から六年以上が過ぎ。亡き両親は現状の私をどう評価してくさるのだろうか？(前回から引用)と未だに考えてしまうのです。

先代の河島賢一が新型コロナウイルスによって様々な制限された世界や、東京オリンピックの延期や無観客での開催をどのように受け止めていただろうか？非常に残念がっていただろうと思います。昨今はかなりの緩和措置がなされていますが、引き続き用心していきたいものです。

私の中で最近の明るい話題としては、アメリカメジャーリーグで投打の二刀流をこなしながら数々の輝かしい成績を収められた、ロサンゼルス・エンゼルス#17の大谷翔平選手の活躍です。年間MVP等の素晴らしい活躍ぶりは、日本に希望の光をもたらしてくれました。

彼の魅力の中でも、あえて挙げさせていたいただければ「人間性」だと思います。

インタビュー時に相手の目を見て、日本人らしい謙虚で誠実なコメントをしたり、ゴミが落ちていたり散らかっていたりすれば率先して片付けたり、敵や味方に関わらず紳士且つ気さくに接したりと、数えたらキリがありませんが、こういった人として素晴らしい行いは是非実行していきたいものです、社内でも二刀流の如く働いてくれるスタッフや、それこそ我が息子たちも、大谷選手のような誠実な男になって欲しいのですが、先ず私

が率先して行動して背を見せなければと思う次第です。

これから先、我々生コンクリート業界という「惑星」にはとてつもなく巨大な隕石が向かってきております。その脅威は複数あるかと思えます。

ですが、私たちは共通理解のもと一致団結という名の「強いバット」となり、様々な脅威を皆で打ち返せると信じております。

周りの環境にも左右されてしまいますが、コンクリートは一度しっかり固まれば、強度が日に日に増進して行きます。様々な価値観、様々なアイデアを結集させれば素晴らしい化学反応が起こると信じております。

厳しいご時世になるかと思いますが、私としては感謝の気持ちを忘れずに、より一層皆様と結束を強めていき、微力ながら尽力させて頂きたいと思えます。

拙い文章ではございましたが、次回私の寄稿は3年後の41歳辺りかと思えます。私事ではありますが今より少しでも成長して業界に恩返し出来る様、日々精進して参ります。

最後に勝手ながら、私が6年前から信じている言葉を載せさせて頂きたいと思えます。

「生き残る種とは、最も強いものではない。最も知的なものでもない。それは、変化に最も適応したものである。」

チャールズ・ダーウィン(1809～82)
(河島コンクリート工業株式会社 代表取締役)

2021年 協組トピックス

2021年も前年に引き続きコロナ禍の中、最大限可能な取り組みを実施して参りました。年末を迎えるに当り、当協組のこの1年の主な活動を改めてご報告します。

【1月】 理事長年頭挨拶の動画配信

1月5日に開催を予定していた「新年祝賀式」を中止。理事長の年頭挨拶をビデオ収録の上で協組ホームページに掲示。

【2月】 定例会議の Web 開催拡大展開

当協組では昨秋より Web 会議システムの導入を開始しており、緊急事態宣言の延長に伴い、理事会他各種の定例会議の開催に拡大展開してリモート化を推進。

【3月】 「構造改善対策モデル案」報告

前年 8 月に実施した「工場集約化事業規程」の見直しに併せ、具体的な構造改善対策に取り組むべき要検討対象エリアについて上申。

【4月】 登録販売店契約更新

2月～3月にかけて実施された登録販売店32社との個別ヒアリングの結果を踏まえ、全32社と「登録販売店取引基本契約」を4月1日付けで更新。

【5月】 第 4 5 回通常総会(議決権行使書による書面決議開催)

緊急事態宣言の再発出により、5月24日に2期連続で書面決議開催とし、Web 会議システムとの併用により全議案が承認可決。また役員改選期に当り、理事・監事全員が改選され、総会終了後に開催された理事会において斎藤理事長が再任。

【6月】 登録販売店会議開催(6月22日「鉄鋼会館」)

登録販売店32社全社出席により開催。市況対策の他、営業・調整管理・技術各関連事項に亘って当協組の取り組み状況を説明し、協力を要請。続けて、「圧縮強度試験の遠隔臨場説明会」を開催。

【7月】 原材料価格等の動向調査実施

2020年4月の値上げ実施以降も続いている原材料価格・輸送費・産廃処理費の上昇によるコストアップの動向を定量的に把握し今後の市況対策に反映させるべく、組合員を対象に調査実施。

【8月】 「残コン・戻りコン削減 PR ポスター」リニューアル

削減PR再強化のため既存のポスターをリニューアルし、協組ホームページにも掲示。

【9月】 令和4年度東京都予算等に対する要望書提出

当協組を含め東京都工組で取り纏めた要望書を提出するとともに、東京都議会各会派により実施されたヒアリングに当協組理事長も出席。(9月2日)

【10月】 第14次出荷調整事業継続更新

2年毎に継続更新としている出荷調整事業について、10月1日より2年間の期間継続更新が決定

【11月】 (1) 記者懇談会開催(11月4日) (2) 登録販売店会議開催(11月16日) 「バルサル東京日本橋」

いずれも①現状の市況動向、②需要動向、③次年度(2022年度)の生コン価格設定を中心に当協組の取り組みを説明し、理解及び協力を求めるために開催。

2022年も引き続き協組諸施策への取り組みを実施して参りますので、組合員各社を始め各関係先の皆様のご協力をお願い申し上げます。



Merry Christmas
from なまリンちゃん

冬至

(寒さに負けるな!)

一年で昼の時間が最も短い日だということは皆さんよくご存じだと思います。ただ、実際の昼の時間は緯度により随分差があり、大都市で最短は札幌の9時間、東京は9時間45分、最長は那覇で10時間30分だそうです(夏は逆)。

また、冬至は湯治に通ずとも言われ、寿命が長く虫に強い柚子の実を入れて入浴することで身体息災であれば融通(ゆうずう)が利くことじつげられてもいます。

わが社のイメージアップ

宮松エスオーシー株式会社



当社は地域密着型工場を目指したイメージアップの一環として、川崎工場(川崎市中原区宮内)に神奈川県警と飲料水メーカーがコラボ開発した『交通安全自動販売機』を設置しています。これは飲み物を購入する際ボタンを押すと、交通安全や交通マナー、防犯に関する言葉をしゃべるといった画期的なもので、市内に数台しかないレアな自販機です。声の主は川崎のご当地アイドルグループ「川崎純情小町☆」のメンバーで、ジュースを買うと「今日も安全運転でね!」などの音声流れ、和やかな気分になると同時に背筋が伸びる思いになります。さらに外装の一部に地元中原警察のマスコットキャラクター「こすぎタワーくん、むさしくん、せせらぎ巡査、ドロもぐら」をプリントし、子供たちにも親しまれるデザインとしました。是非、『中原警察署』で検索してみてください。

環境問題に関しては、強度試験の終わったテストピースや回収骨材を提供する取り組みを行っており、地域住民の方に好評を得ています。テストピースは花壇や土留めに使われ、その数は取り組み開始以来1万本以上となりました。回収骨材は庭の敷砂利や駐車場の不陸調整などに利用され、大量に必要な場合には配達も行っています。いずれの取り組みも地域住民へのイメージアップを図ることに、微力ですが貢献しています。

今年5月、川崎市が取り組んでいる環境改善に関するネットワーク「かわさきグリーンイノベーションクラスター(GIC)」に入会し、さらに7月には「かわさきSDGsパートナー制度」に登録しました。これらを活用して環境問題に取り組む異業種企業、団体、大学、行政などと交流する活動を行っていきたく考えています。また先月にはWEBにて開催された「第14回川崎国際環境技術展」に、低炭素生コン『こんにゃりコン』を出展しました。他業界の企業関係者の方々とのWEBミーティングでは62名が参加され、個別商談会では徳島県の企業様と面談。WEBの便利さをあらためて実感しました。リアル商談会の日も設けられ、対面式で直接企業様に生コン業界でできる低炭素対策の将来像を聴いていただくことができました。その他さまざまな企業様へ当方より残コン戻りコンを説明でき、生コン業界の問題点を知っていただくよい機会となりました。

当社はりんかい工場(大田区城南島)とともに、環境に配慮した製品出荷や資源循環に関わる取り組みを加速していきたいと考えています。

永らくご購読頂きました「わが社のイメージアップ」は本号を以て終了します。今後、組合員各社をまた別の切り口でご紹介する企画を予定しておりますのでご期待ください。